

CONTENTS P1 コンテスト P2-3 活動報告(服飾学科/服飾表現学科/服飾文化学科/初年次教育課程/大学院造形研究科) P4 [特集1] 産学連携の取り組み P5 [特集2] Enjoy! オープンキャンパス・資格課程 P6 大学祭・国際交流・研修会 P7 教育研究活動・卒業生・輝いています! P8 防災(避難)訓練・保護者会・INFORMATION

第60回全国ファッションデザインコンテスト

10月14日(土)にSUGINOホールにて第60回全国ファッションデザインコンテストが開催されました。応募総数1,681点の中から本学2名の学生が受賞しました。

三陽商会賞受賞



授業課題として応募したデザイン画が一次審査を通過、実物審査の結果「三陽商会賞」を受賞することができて、とてもうれしく思っています。私の作品のテーマは「My Way」です。強い風に吹かれる一輪の花からインスピレーションを得ました。大きく膨らむスカートは逆境に負けないしなやかさを、上半身の不規則な花の形は人生の軌跡が一人一人違うこと、自分の選択を信じてそれぞれのマイウェイを生きていることを表現しています。作品の制作プロセスや最終審査会を通して多くのことを経験して、自分自身が成長したと感じました。コンテストに挑戦する人には、頑張ってくださいと伝えたいです。



モードクリエーションコース4年 邬 万霖

作品のテーマは「夢」で、一夜暮の儚さを表現するために、主にシルクオーガンジーを使い、斑に染め、グラデーションを付け、ダメージ加工を施し、シルエットは苜の笠のようにふんわりとボリュームを付け胞子が広がる様子を表現しました。

1年次から、参加に憧れを持ち、挑戦して良かったと感じています。数か月間、先生や友達に沢山サポートしてもらい、大変ながらも良い経験ができました。試行錯誤しながら、ファッション画の通りに仕上げる難しさなど勉強になり、制作はとても楽しかったです。貴重な経験ができたことをこれからは活かし、来年も挑戦したいと思います。



モードクリエーションコース3年 岡野 季帆

大日本蚕糸会賞受賞



FBアワードY2023 全国総合第2位受賞

1 ースの日々の学びを通じて自分達の力が対外的にどの程度通用するのか、また学習成果を確認する機会としてコース3年生で取り組みました。全6チームでエントリー、その内2チームが一次審査を通過、最終審査では1チームが最終審査賞を、もう1チームが総合第二位を受賞しました(全国から131チーム参加)。二位受賞のビジネスプランは、環境問題、SDGS等の社会的命題に対して提言するもので、具体的には過疎地で増加する廃校を活用した地域活性化と生活者に広まる健康・自然志向の高まりを軸としたビジネスプランです。昨年度も先輩達が多数のビジネスコンテストで高い成果を挙げている事もあり、今やコースの伝統になりつつあります。この参加を通じて自分達の学習領域が正しい事や力量を知る事が出来ました。

ファッションビジネス・マネジメントコース3年 河村 聖花



第23回YKKファスニングアワード 審査員特別賞

ファスナー・バックル・スナップ&ボタンといった「小さなパーツ」の新たな可能性を見出す学生を対象とした日本最大級のファッションデザインコンテスト。ファッショングッズ部門1,703点の応募の中から杉野の学生2名が審査員特別賞を受賞しました。

作品のテーマは、「Squares-Cube」。メイクアップアーティストのためのバッグです。立方体の展開図から得られる幾何学的なパターンの開閉を簡単にするために、click-TRAKのファスナーを使用しました。仕事の場面に応じて、2way仕様のバッグに変化します。授業の課題でチャレンジしましたが、何度もモックアップを作り、動作確認をしました。自分がデザインした作品が、ランウェイを歩くのを見てとても感動しました。コンテストに挑戦し、刺激ある経験になりました。

ファッションプロダクトデザインコース4年 YU YIWEN



Japan Leather Award 2023 入選

1 点目は「balance」をテーマに、普段バッグを持たない男性に向けてコーディネートアクセントになるバッグを制作しました。2点目は“バッグは外で使うだけで、家の中では使わなくなってしまう”ことにフォーカスし、「Object」をテーマに制作しました。バッグとしての機能はもちろん、インテリアとして部屋の中でも楽しむことができるバッグをデザインしました。どちらもグループで制作したバッグで、2点とも入選することができ、とても嬉しいです。コースでの応募がきっかけで参加したレザーアワードですが、幅広い分野へのリサーチや、テーマ、コンセプトの重要性を、改めて感じる貴重な経験になりました。ファッションプロダクトデザインコース4年(2023年3月卒)

大木 佳那子



YKKのプロダクト製品であるPOWER-HOOK®面ファスナーを触っていくうちに、自由に変形する機能に魅力を感じ、取って機能ではなく装飾でチャレンジしてみたと思いました。毎日毎日バッグの中に面ファスナーを忍ばせ、行き帰りの電車の中でも触り、波状に変形させたりと、その可能性を探っていました。最終審査(ポートフォリオ審査)まで残った時にはとても嬉しく、プレゼンテーションができた時は感慨無量でした。苦労したことも沢山ありましたが、学生のうちでしか応募できないこのコンテスト、是非みなさんもチャレンジしてみてください。

ファッションプロダクトデザインコース4年 川合 涼花



服飾学科

ファッションビジネス学会全国大会で研究発表

学会設立30周年記念全国大会が開催されました。東日本支部からは全10報の発表が行われ、その内2報はFBマネジメントコースの学生達による研究発表が行われました。

1報は、「アパレル向けメタファッションショー(AIGC + virtual fashion)」を主題とし、NFT、METAVERSE、3D MODELING、VIRTUAL等、デジタル領域の中でファッション業界に広がる実像とその可能性について、展示会や関連企業へのインタビューを通じて調査・研究を行っています。

もう1報は、「今日の社会情勢がファッションビジネスに与える影響」を主題とし、激変する社会環境の中で、インバウンド消費・DX・低所得問題の3点にフォーカスを当てた研究発表です。本研究では訪日外国人街頭インタビューやZ世代アンケート等の実施データを交えながら市場に与える影響研究を行っています。



ファッションビジネス・マネジメントコース主任 鈴木 康久

生成AIによるデジタルデザインの授業について

3年ゼミでは、株式会社OpenFashionによる生成AIのサービス「MaisonAI(メゾンエーアイ)」を使った授業にチャレンジしています。「MaisonAI」は、ファッション業界に特化した文章・画像生成AIツールです。その中の画像ジェネレート機能は、テキスト(文字、文章)で指示をすると膨大なデータからキーワードに合致する写真やイラストをAIが生成します。一般的にデザインを作るときは思い描くイメージを自分の手で色や形にしていますが、今回の授業でわかったことは、生成AIではキーワードの抽出やイメージを言語化することが重要であるということです。今後のファッションビジネスでは、こうした言語モデルを最適化するプロンプトエンジニアが企画の職種まで関わってくるでしょう。未来の職業のイメージを描ける体験ができたと思います。



ファッションビジネス・流通イノベーションコース主任 五月女 由紀子

株式会社ラピーヌ富士服飾研究所 研修旅行

9月15日、私はアパレル業界の現状と専門的な縫製を学ぶために、ラピーヌ富士服飾研究所を訪れました。アーティストックなエントランスを抜けると、迫力ある機械が迎えてくれます。そこには受託生産中のピエール・カルダンの衣服が多く見られました。間近で作業を見る機会が何度もあり、高い技術に圧倒される日でした。1着8時間、1日32着製作するペースの速さに驚き、「プレタポルテの先駆者」である従業員の方とお話するたび、衣服にかかる情熱に強く惹かれました。今後は、誰にどのような気持ちで着てもらいたいかを考え、デザインから縫製の流れにおいて衣服の在り方を追求します。メイドインジャパンの質の良さや手作業の正確さを深く理解することができ、有意義な研修旅行になりました。



モードクリエイションコース3年 岡山 奈央

尾州産地見学旅行

テキスタイルデザインコースは9月中旬、「制服」をキーワードに尾州産地を訪れ、日本毛織株式会社など毛織物に関わる工場を見学して来ました。紡績から先染め織物の織布工程と、貴重な年代のテキスタイルアーカイブや、ハイブランドなどで使用された毛織物やニットの製品も見せていただきました。

工場では徹底した管理の下で、糸や生地が想像を超える規模で生産されており、大迫力で圧倒されました。授業で繊維や糸から生地を制作していますが、実際の現場を見学することでより実践的に学ぶことができ、改めてウールの魅力や特徴など多くの知識を吸収することができました。また、働く人々のテキスタイルに対する情熱と愛情、現場の空気感を肌で感じる事ができる刺激的で貴重な体験となりました。



テキスタイルデザインコース3年 鈴木 葉璃

服飾表現学科

日野校舎の授業作品展示

服飾表現学科では2年次以降、日野キャンパスをメインで利用していきます。日野キャンパスのエントランスにある展示スペースでは〈衣装表現〉〈スタイリング〉〈V M D〉〈ショープロデュース〉〈映像・メディア表現〉の5つの専攻分野の授業で制作した作品を順次展示しています。写真にある作品は衣装デザイン・制作の授業で『20世紀の衣装』のテーマで作成した衣装と、スタイリング演習の授業で『白いシャツから広がる世界』のテーマでメイク・スタイリング・撮影をした写真パネルと写真集です。普段交流する機会の少ない他の専攻や他学年の作品に触れることで日々刺激を受けています。目黒キャンパスで開催されているオープンキャンパスの展示とは異なる作品もありますので、是非見学に来ていただきたいです。



服飾文化学科

フィールドワーク見学研修



服飾文化学科1年生の夏に実施される集中授業「フィールドワーク」では、関西方面の博物館や伝統工芸資料館等を巡り、服飾文化を未来にどのように継承していくかを考えていく見学研修があります。初年度にあたる今年は9月12日(火)～14日(木)の2泊3日で、京都服飾文化研究財団(KCI)、西陣織会館(京都)、国立民族学博物館(大阪)、神戸ファッション美術館、兵庫県立美術館を訪ねました。

世界有数の西洋衣装コレクションを所蔵するKCIでは学芸員の方から17世紀以降の貴重なドレスを見せていただき、修復室では修復士の方から実際の繊細な作業を見せていただくことができました。また西陣織会館では機織り職人の方の実演を見学し、学生自身でも機織り体験をする等、充実した研修プログラムを終えました。



服飾文化学科 鈴木 桜子

初年次教育課程

スカートブラウスコンテスト2023

3学科の1年生全員を対象としたコンテストです。先輩の話を聞き、コンテストへの応募を考えた学生の中には、途中断念した方もいます。今回受賞された方は、知識、経験をいかし挑戦した作品やportfolioには制作者の思いが伝わってきます。今後、一人でも多くの学生が何かに挑戦する機会にこのコンテストが繋がればと思います。 初年次教育課程連絡委員会 水野 真由美

グランプリ受賞者の声



伝統的なタイの布を日本の着物のように多くの人に知って貰いたいと思い応募しました。テーマは、マルチウエイスカートで、作りながら少しずつ変え、やっと満足できる作品ができたので、受賞はとても嬉しいです。興味を持った事に挑戦するのは、皆さんも将来を豊かにするきっかけになると思うので、チャレンジしてみてください。

服飾学科1年 ケートブラカン 彩莉

グランプリ



準グランプリ



熊谷 莉奈

特別賞(ポートフォリオ)



水島 萌

特別賞(ファッション画)



大島 みさき

大学院造形研究科

創作表現コース1年作品展示にあたって

2023年8月28日～31日の間、学園内にあるGallery U2にて、本科創作表現コースの1年生3名による作品展示が行われました。これは1年次授業「創作研究1-造形表現構想法-」の一環として毎年行われており、初日を搬入・展示の時間にあて、そこでの試行錯誤も評価の対象としています。

スロースターター気味な今年の出品者達は、3名とも服の作品です。ある者はアーティストとして“そこ”に感情表現の場を求め、ある者は“そこ”に少数民族と現在の交点を探し、そしてある者は“その”フォルム(又はシルエット)に自らの造形感覚の軸を求めます。例え多少粗いものであったとしても、この展示・発表は彼女らが己と向き合った記念すべき「創作の出発」と言えるのではないのでしょうか。



大学院造形研究科長 瀬古 徹

産学連携の取り組み

本学では日ごろの教育研究成果からアパレル関係の企業と連携し、商品企画や店舗販売などに活かす取り組みを積極的に行なっています。社会貢献、経済活動にも繋がる産学連携は学生たちが将来のビジョンを持つ上での大事な学びになります。その一部をご紹介します。

colourz

×

ファッションプロダクト デザインコース

北沢にあるファッション雑貨店 colourz にて、ここ数年学生たちが提案した雑貨を販売させていただいています。今までに、革小物、トートバッグ、キーホルダー etc.. を販売しています。ファッションプロダクトデザインゼミ(3年)の授業で USUI INTERNATIONAL 株式会社と産学連携授業を行いました。今年は、『世界の国』をイメージして個人制作での企画、デザイン、仕上げを行い、商品を完成させました。バッグ、帽子、アクセサリ、小物を提案いたしました。企業様の前でプレゼンテーションを行い、講評をいただきながら修正を行い、2023年10月2日(月)～22日(日)の期間で制作した作品を販売いたしました。

下 北沢にあるファッション雑貨店 colourz にて、ここ数年学生たちが提案した雑貨を販売させていただいています。今までに、革小物、トートバッグ、キーホルダー etc.. を販売しています。ファッションプロダクトデザインゼミ(3年)の授業で USUI INTERNATIONAL 株式会社と産学連携授業を行いました。今年は、『世界の国』をイメージして個人制作での企画、デザイン、仕上げを行い、商品を完成させました。バッグ、帽子、アクセサリ、小物を提案いたしました。企業様の前でプレゼンテーションを行い、講評をいただきながら修正を行い、2023年10月2日(月)～22日(日)の期間で制作した作品を販売いたしました。



ファッションプロダクトデザインコース主任 肉丸 美香子

ZOZOの出前授業

株 株式会社 ZOZO のフレンドシップマネジメント部によるキャリア教育「出前授業」が3年ゼミで実施されました。今回訪問していただいたのは、企業理念「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を」の実現のためです。9,000ブランドを扱うECモールのZOOTOWNの仕組み、ブランドのショッページを見て学生意見を交換するワークをし、企業の参考にいただきました。ZOZOの「楽しく働く」という会社のカルチャーを伝えていただき今後の各自のキャリアの参考になりました。

ファッションビジネス・流通イノベーションコース主任 五月女 由紀子



実 践的な産学連携としてECサイトプラットフォーム「futureshop」にてオリジナルのプリントTシャツを販売しました。学生は商品企画からECサイトの構築、SNSでの販促活動、商品発送までの一連のプロセスを経験。「ファッション販売」ではこの産学連携に参加された、フューチャーショップの八木智仁氏、日本Eコマース学会の宮松利博氏、デザイナーの後藤麻美氏との対談形式で掲載をされました。学生は遠い世界と考えていたEC業務を学ぶことで未来の職業選択肢の一つとなった授業でした。

ファッションビジネス・流通イノベーションコース主任 五月女由紀子

『ファッション販売』 掲載の 産学連携授業

激 変するファッション市場に呼応するように服飾系教育に求められるリテラシーも大きく変化してきています。特に本学は単科大学のためファッション業界に対して強い就業観を持つ学生が多く、本コースでは「実践学」を通じて、その期待に応えようとするコース設計となっています。その基幹科目として「産学連携プロジェクト」が位置付けられていますが、コース創設以来実施されてきたフレームワークがステージIとされ、実企業と単年度の取組みをベースに実施運営されてきました。そして2019年よりステージIIへの転換を図っています。ステージIIでは実企業との連続性を担保しながら産学連携教育における「産」と「学」双方の未来ビジョンの共有を図る事、期の終了後に双方の結果検証を踏まえ翌年度に生かしていく事、また「産」の抱えるソリューションを主題に双方の利益を追求していく事にポイントがあります。この実企業との取組みを主体的運営の柱とする「産

産学連携型教育プログラム 進化する

学連携プロジェクト」のカリキュラム自体も、実はどんどん進化しており、年々サポート企業が増え、既に4社の複合型連携となっています。また「産学連携プロジェクト」の相互補完科目となる「店舗開発マネジメント論」においてもデザイン施工系企業との連携プロジェクトとして、更には「新製品開発論」についても実アパレル企業との連携型カリキュラムとして2023年度より改編・進化されています。今後についても、時代の要請や実マーケットの変化に即応性を担保しながら更に学修効果の高いカリキュラムにするべく進化させていきたいと考えます。

ファッションビジネス・マネジメントコース主任 鈴木 康久



Enjoy! オープンキャンパス

特集

2

夢をつかむ第一歩!

本学のオープンキャンパスでは、杉野でどんなことが学べるのか? 学科・コース説明や入試説明、キャンパスツアー、個別相談などの他、模擬授業や体験授業など年間を通して毎回ユニークな企画を実施しています。ファッション・服飾の世界に興味を抱く高校生にとって杉野のオープンキャンパスは将来の夢に向かう第一歩となる大事な機会。今年の夏に開催されたオープンキャンパスの中から人気の高かった特別企画を紹介します。

服飾表現学科

8月19日(土)

授業公開 & 映像の収録体験

服 飾表現学科の5つの専攻のうち「ショープロデュース」と「映像・メディア表現」2つの専攻を学ぶ学生達による実践的な授業の様子をSUGINOホールにて公開。また、マルチビデオカメラ、スイッチングなどの機材に触れる映像収録体験と、スタジオブースでの本格的なライティングと撮影機材で写真撮影体験も行いました。緊張気味な学生たちの実習風景に高校生たちは興味津々。服飾表現学科の授業のひとつを楽しんでいただきました。



服飾文化学科

8月19日(土)

歴史の装い体験「コルセット&アンダーウェア」

19世紀の装いに挑戦!

服 飾文化学科では特別企画として19世紀ヨーロッパの女性たちがドレスの下に身につけていたコルセットとアンダーウェアのレプリカ装着体験を行いました。当時の理想のウエストサイズは40センチ台! 学科教員が参加高校生のウエストを徐々に絞めていくとみるみる細いうエストに。その様子を微笑ましく見守る親御さんの姿もありました。最後は歴史衣装画像の前で記念撮影。ご家族みなさんで楽しんでいただけました。



高校生のための授業体験会

8月7日(月)~8日(火)

大学で実際に開講している授業に関連したショートバージョンで受講できる企画です。参加高校生は講義系と実習系で興味のある授業を選択して周り、大学の専門的な授業を体験します。今年開講された体験授業は下記の通りです。

講義 服の設計 - パターンと素材の関係 / 服作りの基本 / ファッショントレンド分析の実践学 / 教職課程における教育課程論入門 / 様々な装飾技法 / 四季をまとった装い - 日本服飾の色と文様に見る美意識 - いろいろな視点から「色」を捉える / 人は「見た目」が大切って本当?! / クリスマン・ディオール造形テクニク / おしゃれ狂騒曲 - 19世紀の流行ファッション - ファッション業界のスタッフによるインフルエンサーマーケティング / 美しさと私らしさ - 歩き方と立ち方 -

実習 A ガウンワンピースをつくろう / B 金属でアクセサリーをつくろう / C ファッション画を描こう / D エコバッグを染めよう / E 手織りの壁飾りをつくろう / F オリジナルニット生地をつくろう / G 革小物製作! 刻印チャーム付きサコッシュ / H チュールのパニエをつくろう / I プルオーバーのブラウスをつくろう / J アニマルモチーフをつけて表現しよう / K フォトスタジオで撮影してみよう

資格課程

教育実習を終えて

私は都内にある高等学校で3週間の教育実習をしてまいりました。始めのうちは、生徒の名前や学校のルールなど覚えることも多く、環境に慣れることで精一杯でした。2週目からは本格的な授業が始まり、様々な課題と直面する中で、大変なことも多くありましたが、その分学んだことも多くありました。特に社会人としての振る舞いや、何事にも謙虚さを忘れず向上心を持って臨むことの大切さを学べたと感じています。教育実習を通して学んだことは、教育実習報告会で後輩たちに伝えることができたと感じています。これから教育実習に行く人たちは報告会で得た事を大事にしながら、ぜひ楽しんで色々なことを学び、充実した時間を過ごしてほしいと思います。

服飾学科 モードクリエイションコース 4年 中村 円香

教職課程



博物館実習旅行を終えて

9月16日~18日に博物館実習旅行に行ってきました。1日目は平等院ミュージアム鳳翔館、京都鉄道博物館、京都水族館、2日目は春日大社国宝殿、奈良国立博物館、興福寺国宝館、元興寺法輪館、3日目は京都市動物園、京都市京セラ美術館、京都国立博物館に行きました。それぞれの博物館、美術館での展示方法や展示環境などを見ました。またミュージアムグッズの展開方法なども色々ありミュージアムグッズも博物館の顔ということを実感しました。実際の展示方法や展示環境の整備などをたくさん見ることができてとても有意義な実習旅行になりました。今まで学んだことを再確認することができたのでこれからの自分の将来に活かして行きたいです。

テキスタイルデザインコース4年 佐々木 菜摘

学芸員課程



水族館前にあるオオサンショウウオのオブジェ(京都水族館)

大学祭テーマ「RESTART」

これまでコロナ禍において、オンラインで行う大学祭は初めての経験でしたが、4年ぶりのオンラインでの大学祭を開催！
 去年まではオンラインで少し寂しい部分もありましたが、今年は「更なる新しい時代に向けて出発していこう!」という想いを込めてRESTARTとしました。



大学祭

大学祭実行委員長あいさつ

今年は、4年ぶりにオフラインでの大学祭を開催することができました。大学祭のテーマは『RESTART』です。「更なる新しい時代に向けて出発していこう!」という想いを込めて決定しました。

対面での大学祭を経験した学生が一人もいなかったため、ファッションショーやライブの企画、ステージ構成など、全て一から手探りで実行委員・学生自治会メンバーで考え準備を進めました。今回の大学祭を経験し、幹部・それぞれの部署での話し合いが一番大切だと学びました。この経験を来年度の大学祭に生かしたいです。 服飾学科 流通イノベーションコース2年 里見 琳花



天竺 FASHION SHOW

天竺ファッションショーは杉野服飾大学の伝統のイベント。各チームに与えられた10メートルの天竺をどのように表現するかを競い合います。生地を染めたり、加工したり、同じ素材とは思えない多彩な作品が揃い、杉野の学生ならではの技術力と表現力に大いに会場が盛り上がりました。



国際交流

中国浙江理工大学「杉野服飾大学で日本のファッションと文化を学ぶ」短期研修旅行

本学では国境を越えて提携校との国際交流を推進しています。今年の夏、7月15日～27日の日程で短期研修旅行「杉野服飾大学で日本のファッションと文化を学ぶ」を開催し、交流協定校である中国浙江理工大学(浙江省杭州市)の学生20名が来日しました。研修プログラムには友禅染や茶道などの日本の伝統文化や都内での市場調査等、本学教員による講義や体験授業があり、また休日には鎌倉・富士山等を観光し、日本を十二分に満喫した12日間の研修旅行になりました。



研修会

FD研究委員会では、教員対象の研修会を毎年開催しています。研修会の後半は、必ずグループディスカッションを行い現在の課題や問題点について意見交換等を行い、教授法等に対する教育の質的向上を図っていきます。 FD委員会委員長 肉丸 美香子

教員対象研修会

ことばの解釈・選択におけるバリエーション
 -教育現場において齟齬のないコミュニケーションを取るためのヒント-
講師 北澤 茉奈 助教(英語研究室)

本研修会では、社会言語学の観点から、ことばの解釈・選択におけるバリエーションについて考えました。社会言語学では、ことばを社会的要因(親密度、年齢、性別など)と結びつけて捉えます。今回は、日本の言語文化とは異なることばの解釈・選択が行われる英語の例を紹介しました。例えば、助言をする場面では、相手に寄り添って「～しない方がいい」と言うこともできれば、相手の独立を尊重して「私なら～しない」「I wouldn't ~」といった方法を選択することも可能です。その後、ことばのバリエーションの背後にある原則を紹介し、教育現場におけるコミュニケーションへの応用可能性について考えました。



高大連携・教員合同研修会

Z世代の若者との関わり方について探る
講師 手島 陽介 講師(心理学研究室)

「Z世代の若者」をテーマに、日々の学生相談で関わる学生達の特徴を例に、世代間のギャップや関わり方についてご報告いたしました。心理学的観点から考えると青年期(13歳～19歳頃)に、個人の価値観やアイデンティティなどが形成されると考えています。その大切な時期に、世代を超えて関わる力は、相手との協働作業によって成り立つ力が大きく関わってきます。研修会では、心理カウンセリングの視点から、世代を超えて「関わる力」、「聴く力」等について探ってまいりました。高等学校の先生方、本学教員、それぞれ日々の教育現場における工夫やご意見なども頂き、大変有意義な研修会となりました。



教育研究活動

杉野服飾大学若手教員作品展「keep making」

本学の若手研究者5名による、所属を超えての作品展示を『gallery U』にて開催いたしました。

普段は服飾造形、モードクリエーション、ファッション画、テキスタイルデザインの授業でそれぞれ助手として仕事をしています。展覧会のテーマとした「keep making」には、教員としてだけでなく、研究者としても“作品を継続してつくり続ける”という意味を込めました。

研究や教育の幅を広げるため、1年間の成果を学内外の多くの方に評価していただく機会を作り、研鑽を積んで今後更なる研究への糧としたいと思います。

会期 2023年11月27日(月)～12月1日(金)

会場 gallery U

出品者・研究室名 内田早南[服飾造形研究室 技術助手]、志賀紅々香[テキスタイルデザイン研究室 技術助手]、渋谷美沙希[服飾造形研究室 技術助手]、富井さくら[ファッション画研究室 技術助手]、中野友恵[服飾造形研究室 技術助手](五十音順、敬称略)

服飾造形研究室 技術助手 中野 友恵



展示会「SUGINO FASHION PRODUCTとその仲間たち」

ファッションプロダクトは楽しい! というコンセプトのもとに研究室スタッフとコース卒業生の仲間たちとのコラボレーション企画です。持つアクセサリ、トロンブルイユ、いつまでも寄り添う、などなどそれぞれに思いを込めたバッグや帽子を発表いたしました。実際に、皮革で制作されたモバイルなども含めて展示空間を演出しました。今回このような企画は初めてでしたが、タイトルにもあるように多くの仲間たちと今後も続けていけたらと思います。



ファッションプロダクトデザイン研究室 肉丸 美香子

書籍刊行『ファッションイラストレーション・テクニク』

服の構造を理解して描く』



近年はデジタルで描かれたイラスト書籍も多く出ていますが、この書籍ではアナログで描くことに重きを置き、鉛筆や画材の質感を感じられるように、ほとんどのページは手描きのイラストにしました。まずは紙と鉛筆で、自身の筆圧や線のタッチを知ってほしいです。人体のプロポーシオンやポーズなどから始まり、衣服のシワの入り方や構造について図解しています。また、生地を描き方やファッション画の事例も載せていますので、服飾を学ぶ学生やこれからファッション画を勉強する方の手助けとなると嬉しいです。

ファッション画研究室(非) 福地 宏子

『ファッションイラストレーション・テクニク 服の構造を理解して描く』

著者 福地宏子 出版社 マール社 発行日 2023年9月26日

卒業生、輝いています!

今年 年の9月に行われたNYFWでGlobal Fashion Collective主催のキッズファッションショーが初開催されました。今回はそのトップバッターとして出演させて頂きました。2012年に娘が誕生したのをきっかけに子供服の製作を始め、主にInstagramで活動をしてきました。「ゆめかわいい」をコンセプトに主にパステルカラーを使用したテキスタイル、フリル、チュールなどを使用したアイテムを製作しています。一目見て子供も大人も心がときめいてもらえるそんな子供服を作っていきたいと思って活動を続けています。



今回の2024S/Sコレクションでは淡い色味とたっぷりのギャザーでエアリー感を出し、花柄のテキスタイルやシフォン・チュール素材で春の訪れる様子を表現。動く度に揺れるスカートでスキップしたくなる程心躍る作品に仕上げました。



NYFWのキッズショーに出演



また今回初めてとなるユニセックスなデザインも披露しました。パステルカラーやフリルなどの「かわいい」テイストを男女どちらが着てもOKなように試行錯誤して形にしていきました。今回このような舞台上で自分の好きを発信できたことに感謝し、これからの活動も続けていきたいと思っています。

好きを研究し継続+行動をしていく事で素敵な未来が待っていると信じています。皆さんも素敵な未来を掴みに頑張ってください!!

吉野 美怜(旧姓:峯島)

2011年 感性産業デザインコース(現インダストリアルパターンコース) 卒業

【経歴】 大学卒業後、株式会社ヤングファッション研究所に入社。同年退社。

2012年に「teddy♡me」として活動開始。

2022年からは子供服作りのオンライン講座を始動。受講数100名以上。

2023年までに様々なマルシェやイベントに出店。ネット記事や雑誌の掲載複数。

防災(避難)訓練

2023年9月8日(金) 11:00から1年生対象の防災(避難)訓練を実施しました。今回は、台風13号の接近に伴い、雨が強く降ったため第一避難所を屋内に変え、点呼・安否確認を行い、各クラス担任が本部へ状況を報告して、訓練終了となりました。災害はいつ起こるかわかりません。自分の身は自分で守るという意識が大切です。日頃から防災意識を高め、学校や自宅近辺の避難経路等を確認してください。万が一災害に遭った場合は、きちんとした情報に耳を傾け、行動しましょう。



学生サポート連絡委員会 手島 陽介

保護者会

2023年10月29日(日) 13:00から第二校舎小ホールにて、第2回大学1年生保護者会を開催いたしました。当日は29名の学生の保護者様にご参加頂きました。前半は学長、学部長、就職部長、教務部長より、コース・専攻の選択、就職関連、行事予定などのお話をさせていただき、後半は各クラスに分かれて、担任・副担任による懇談会を行いました。当日は大学祭2日目ということもあり、各クラスの展示やファッションショーなどもご覧いただくことができました。



学生サポート連絡委員会 手島 陽介

INFORMATION

図書館

図書館利用の際はホームページをご活用ください

昨年のホームページリニューアルに伴い、パソコンだけではなく、スマホやタブレットでも予約や申請がしやすくなりました。ホームページからできることは資料の検索・予約だけではなく、セミナー・講義の予約や質問/要望/資料購入リクエストの申請のほか、他大学・他機関の利用申請も可能です。また、卒業生・元教職員の図書館利用の際もホームページ上からご予約いただけます。各種予約・申込みについての詳細は、図書館ホームページ「Guide ご利用案内」をご覧ください。本学図書館は、在学中も卒業・退職後も多くの方のご利用をお待ちしております。



図書館 HP

博物館

博物館では「民族衣装入門」展を開催中です(2024年1月29日まで)。みなさんにとって「民族衣装」という言葉自体は聞きなじみのある言葉かと思いますが、「民族衣装ってなんだろ?」と考えたことはあるでしょうか。民族衣装はその華やかで美しい装いが魅力的ですが、一歩踏み込んでみるとその民族における歴史や習俗、宗教など、そこに付随する様々な文化的要素を知ることができます。本展では1階にウズベキスタン、インド、グアテマラ、アイヌ民族の衣装を、2階にブルガリア、ルーマニアの衣装を展示しています。民族衣装に施された美しい装飾とともに、衣装が物語るその背景をお楽しみください。皆様のご来館をお待ちしております。



1階展示室

教務部

後期末の授業・諸行事予定について

- 2024年 ●
 - 1月6日(土) (冬季休業明け) 平常授業開始
 - 1月9日(火) 月曜日の授業実施日
 - 1月29日(月) 後期平常授業終了
 - 1月30日(火)～2月3日(土) 試験・補講・集中
- 集中授業 ●
 - 2月3日(土)、17日(土)～19日(月)
 - 教職特別授業及び教壇模擬演習(大3教職履修者)
- 採点結果発表 ● 2月13日(火)
- 追再試手続き ● 2月13日(火)
- 次年度オリエンテーション ●
 - 1月30日(火)～2月3日(土)
- 仮履修申告 ● 2月14日(水)・15日(木)
- 追再試験 ● 2月19日(月)～21日(水)
- 卒業式 ● 3月19日(火)

経理部

令和4年度 決算の概要(事業活動収支計算書)

[令和4年4月1日から令和5年3月31日まで] (単位:千円)

科目	金額	
【教育活動収入】		
学生生徒等納付金	1,031,866	
手数料	9,234	
寄付金	2,095	
経常費等補助金	178,673	
付随事業収入	88,835	
雑収入	20,383	1,331,086
【教育活動支出】		
人件費	841,736	
教育研究経費	547,583	
管理経費	183,942	1,573,261
教育活動収支差額		△ 242,175

科目	金額	
【教育活動外収入】		
受取利息・配当金	4	
収益事業収入	50,000	50,004
【教育活動外支出】		
借入金等利息	1,100	1,100
教育活動外収支差額		48,904
【特別収入】		
その他の特別収入	649	649
【特別支出】		
資産処分差額	504	504
特別収支差額		145
基本金組入前当年度収支差額		△ 193,126
基本金組入額合計		△ 58,629
当年度収支差額		△ 251,755

2023年度 杉野服飾大学・杉野服飾大学大学院 卒業制作・卒業論文・修了制作 発表会

大学 服飾学部

服飾学科	科目	発表形式	日程	会場
服飾学科	モードクリエーションコース	ファッションショー	2月10日(土)	SUGINO HALL (招待のみ)
	インダストリアルパターンコース	口頭発表	2月5日(月)	2303教室 (招待のみ)
	テキスタイルデザインコース	口頭発表 作品展示	2月8日(木) 2月8日(木)～10日(土)	2001教室 2001・2104教室
	ファッションプロダクトデザインコース	口頭発表 作品展示	2月8日(木) 2月8日(木)～10日(土)	小ホール(2105) 小ホール(2106)
服飾表現学科	ファッションビジネス・マネジメントコース	口頭発表 卒論展示	2月5日(月)～7日(水) 2月5日(月)～7日(水) 2月8日(木)～10日(土)	3403教室 3402教室 小ホール前エントランス(抜粋)
	ファッションビジネス・流通イノベーションコース	口頭発表 卒論展示	2月8日(木) 2月8日(木)～10日(土)	2303教室(含む卒論展示) 小ホール前エントランス(抜粋)
	衣装表現専攻 スタイリング専攻 ビジュアルマーチャンダイジング専攻	【日野校舎】 プレゼンテーション 作品展示	2月4日(日) 2月2日(金)～4日(日)	R棟101・102 G棟1～3階 B101・105・107 他
服飾表現学科	ショープロデュース専攻 映像・メディア表現専攻	【目黒校舎】 プレゼンテーション 作品展示	2月8日(木) 2月8日(木)～10日(土)	2003教室 第2校舎地下EVホール

※詳細は後日manabaに掲載されます。全学科の卒業制作・卒業論文の内容が動画・画像でアップされる予定です。

大学院

造形研究科	科目	発表形式	日程	会場	
造形研究科	白橋 功佑	作品展示 (A:彫刻 B:服)	1月31日(水)～2月4日(日) 11時から20時(初日は16時から、最終日は18時まで)	Gallery Conceal space C,D (渋谷)	
	創作表現コース	辻本 彩香	作品展示 (A:8コマ漫画 B:イヤリング)	1月31日(水)～2月4日(日) 11時から20時(初日は16時から、最終日は18時まで)	Gallery Conceal space A (渋谷)
	横山 幸希	作品展示 (A:絵画 B:ジュエリー)	1月31日(水)～2月4日(日) 12時から19時(初日は16時から、最終日は18時まで)	ars gallery(青山)	
3Dデジタルモデリングコース	古荘 万葉	作品展示と映像	1月25日(木)～1月31日(水) 11時から17時(日曜日無し)(初日は午後のみ、最終日は16時まで)	第2校舎地下EVホール	

SUGINO 杉野服飾大学報 No.44

編集 鈴木 桜子、井口 多恵子、伊藤 高広、数井 靖子、高橋 大夢、羽賀 友美、水越 綾

発行日 2023年12月31日

発行 杉野服飾大学教授会 印刷 カラー印刷株式会社